

平成30年度 第2回阿賀野市地域公共交通協議会 議事要旨

日 時 平成30年6月27日(水) 午後2時00分～午後2時55分

場 所 阿賀野市役所 403会議室

出席者 委員名簿のとおり

議 事

(1) 阿賀野市地域公共交通協議会規約の一部改正について

- 意見・質問等はなかった。

(2) 平成29年度事業報告について

- 意見・質問等はなかった。

(3) 平成30年度事業計画について

- 以下のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

(委員からの意見・質問)

デマンド交通の実証運行について、便数を増やして、本来であれば利便性が向上するところである。しかし、昨年度の結果を見ると、利用者が高齢者に偏っている時間帯をデマンド運行としたことで、便数は増やしたけれども走行距離は減少している。運行経費の面から見れば望ましい形と言えるかもしれないが、運行業者側から見れば、その時間帯も人員を確保しなければならない。10月の協議会で12月以降のデマンド運行について決めるとしているが、運行業者側からの視点として、人員的な余裕は大丈夫なのか。

(宮腰委員)

昨年12月からデマンド交通の実証運行を行い、2月にアンケートを実施した。結果を見ると、予約の受付を前日までとしたことで、その手続きが高齢者にとって負担になっていた。また、病院に行くときは定時定路線で行くが、

診察時間の終わりが見込めないため、帰りの時間が読めず、予約しづらいという点があった。その点を踏まえ、6月からは病院から帰る時間帯である午前の最終便をデマンド運行から定時定路線に戻した。午後の便についても、昨年12月では増便してデマンド運行のダイヤを組んだが、期待したほど予約は入らなかった。6月からは、ある程度利用を見込めた1便は残したが、それ以外は見直しをして運行をしている。

(菅原課長)

予約の受付について、前日予約では高齢者の利用を見込むのは難しいと見ている。デマンド運行が成功しているところは、電話を使って、なおかつ、直前まで予約ができるという場合が多い。運行業者側の意見も聞きつつ、もう少し近くまで予約が受け付けられるようだと利用者にとって良いと思う。予約の改善・見直しを検討してほしい。

(宮腰委員)

今のところ、予約専門のオペレーターを確保している状況ではないため、前日予約としている。その部分を改善できれば、もう少し近い時間帯まで予約ができることになる。デマンド運行での路線を増やしていく中で、予約のオペレーターをどうするかという点も大きな課題なので、今後調整を図っていきたいと考えている。

(菅原課長)

パークアンドライドの調査結果について、3月の協議会で示されていたか。

(宮腰委員)

3月の協議会では調査結果の報告はしていなかった。あらためて、調査結果を資料として、委員の皆様へ送付させていただく。

(菅原課長)

五頭温泉郷線について、以前はうらの森近辺まで乗っていく利用者が多かったと思う。現在はどうか、利用状況を確認した方がよい。この路線だ

け日曜運行しているが、日曜日に乗客はあまり乗っていないと思われる。温泉を目的に乗っている人はいないのではないか。

(宮腰委員)

五頭温泉郷線はご指摘のとおり乗客数の減少が大きい。前年度比で 2,453 人の減であり、減少割合としては、前山線に続いて、2 番目に大きかった。その理由が、観光目的の利用なのか、生活交通としての利用なのかは分からない。停留所の乗降も含めて分析してみたいと思う。

(菅原課長)

(4) デマンド交通実証運行における運行実績について

- 以下のとおり意見・質問があった。

(委員からの意見・質問)

定時定路線と 5 月までのデマンド運行の実績を比べて、利用者の減＝運賃収入の減と説明があった。利用者の減少を止めていくということなら、利用者という項目も必要ではないか。6 月からデマンド運行の便と定時定路線の便で内容を変更したところもあるが、路線として、利用者がどうなっているかも見せてほしい。

(佐藤(美)委員)

要望のとおり、今後は利用者数についてもお示しするようにしたい。

(菅原課長)

(5) 平成 30 年度デマンド交通実証運行について

- 以下のとおり意見・質問があったが、原案のとおり承認された。

(委員からの意見・質問)

停留所を新たに設置するケースで、他自治体の事例であるが、横断歩道のすぐ近くにバス停を設置したということがあった。もし、停留所を新設することがあるなら、計画段階でもよいので、事前に警察へ情報提供してほしい。

(梅沢委員)

停留所を新たに設置することがあれば、警察へ情報提供したい。

(佐々木主任)

神山線は、5便（定時定路線）と7便（デマンド運行便）の時間の間隔が短いので、予約が煩わしいと感じている利用者は5便の方に乗ってしまうのではないか。実証運行開始の12月まで時間があるので、もう少し運行時間について検討した方がよい。

(宮腰委員)

デマンド運行予定の便については、まだ詳細な出発時間を決めていないため、大まかな時間として何時発と記している。委員のご意見も踏まえて、出発の詳細な時間は検討して設定したいと考えている。

(菅原課長)

(6) 平成31年度生活交通確保維持改善計画について

- 意見・質問等はなく、原案のとおり承認された。